

平成28年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業・レスパイト事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日



# I 法人本部

## 【総括】

平成28年度は社会福祉法の改正への対応に終始した年でした。平成27年度末に神奈川県により開催された社会福祉法改正案の説明会を初めとして平成28年度に何度となく説明会がありましたが、国からの通知等が遅れたこともあり、具体的な作業は年度後半から始めるという準備期間がない中で作業となりました。しかし、役員・評議員の皆様の御理解・御協力もあり、定款変更、評議員選任・解任委員会の開催による新たな評議員の選任など、無事に新たな社会福祉法人制度への対応ができました。

ソフト面では、平成28年度の課題でありました財政面の強化に関して、徹底した予算執行管理により、3年連続の赤字を脱却することができました。また、保育士、支援員、看護師、調理員の退職に伴う職員採用に際して、ホームページ、ハローワーク、マイナビ、求人チラシの新聞折込やポスティングなどのほか、職員募集看板を設置するなど様々なメディアを活用して職員募集を行った結果、満足とはいかないまでも退職者に対する後任職員の確保ができました。今後も年々困難となることが想定される職員採用に関しては、前述のような様々なメディアを活用した職員募集を行って参ります。

ハード面では、みどり園既存棟改修第4期工事として2階の支援室周りの洗面室やトイレの改修など、計画どおりの施工ができました。また、成瀬スタジオの造成工事を実施したほか、建物の設計業務を進めて参りました。建物については地盤調査等の結果により当初に建築予定であった2×4工法を断念するなど設計変更があったため平成28年度の着工は困難となりましたが、引き続き平成29年中の完成をめざして進めて参ります。また、成瀬スタジオ未活用地の売却についても、宅地造成等に課題があり平成28年度に予定していた土地全体の一括売却は断念せざるを得ませんでした。宅地造成等の課題も解決し、平成29年度に区画分譲する方向で進めています。

このほか、各施設・事業所で掲げた平成28年度の課題は、みどり園でのレスパイトサービスの充実や本厚木ふたば保育園における地域の子育て支援、アトリエ ヴェルデの利用者の増など、一部で十分な成果を得られなかった項目もありますが、そのほかの課題については成果が得られており、利用者に対する支援の充実・向上や円滑な法人運営に資することができました。

最後に、平成28年7月に発生した津久井やまゆり園の事件は、大きな衝撃と障害福祉に様々な課題を投げかけた事件となりました。緑友会においても、事件報道の当日に緊急代表者会議を招集し、防犯にかかる施設の安全確保の確認、課題の把握を行うとともに、警察等の指導の下、全施設を対象とした不審者対応の訓練研修を実施いたしました。さらに、さすまた等の防犯機器の整備やみどり園、清川ホームにおいては国・県等の補助金を活用した門扉、防犯カメラ等の整備等を行ったところですが、この痛ましい事件を教訓とし、引き続き施設の防犯体制の徹底と利用者皆様の安心安全な環境整備に努めてまいります。

## 1 評議員会

平成 28年 5月 25日

### 【議案】

- ・平成27年度事業報告について
- ・平成27年度収入支出決算について
- ・基本財産の担保提供について

### 【報告事項】

- ・法人の状況について
- ・神奈川県による指導監査及び実地指導について
- ・職員不足の深刻化と緑友会としての対応について

平成 29年 1月 24日

### 【議案】

- ・定款の変更について(基本財産の増等)
- ・定款の変更について(社会福祉法の改正)

### 【報告事項】

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・津久井やまゆり園の殺傷事件への対応について
- ・保育園に対する神奈川県の指導監査について
- ・法人広報の発行について
- ・みどり園既存棟改修工事について
- ・アトリエ ヴェルデの移転について
- ・映画撮影について
- ・広報板の設置について
- ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について

平成 29 年 3 月 29 日

【議案】

- ・平成29年度事業計画について
- ・平成29年度予算について

【報告事項】

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・平成28年度決算見通しについて

## 2 理事会

平成 28 年 4 月 1 日

【議事】

- ・理事長の互選について
- ・理事長の職務代理の指名について

平成 28 年 4 月 27 日

【議案】

- ・緑友会成瀬スタジオ造成工事の入札について

【報告事項】

- ・4月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・みどり園の利用者について
- ・代表者会議の補強について

平成 28 年 5 月 26 日

【議案】

- ・平成27年度事業報告について
- ・平成27年度収入支出決算について
- ・基本財産の担保提供について
- ・金融機関からの借入(6月賞与支給等に係る一時借入金)について

【報告事項】

- ・成瀬スタジオ造成工事の入札結果について
- ・第1回評議員会について

平成 28 年 6 月 29 日

【議案】

- ・成瀬スタジオ建築工事の発注について

【報告事項】

- ・6月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・みどり園の利用者の転落事案について
- ・成瀬スタジオ造成工事について

平成 28 年 7 月 27 日

【報告事項】

- ・津久井やまゆり園の殺傷事件について
- ・成瀬スタジオの進捗状況について
- ・神奈川県 の 指導監査について
- ・法人広報第26号の発行について

平成 28 年 8 月 31 日

【議案】

- ・経理規程の一部改正について
- ・成瀬スタジオ未活用部分の売却方針について

【報告事項】

- ・8月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの進捗状況について
- ・職員採用について
- ・みどり園既存棟第4期工事について
- ・神奈川県による指導監査(保育園)の結果速報について

平成 28 年 9 月 28 日

【報告事項】

- ・成瀬スタジオの進捗状況について
- ・成瀬スタジオ未活用地の売却について
- ・職員採用について
- ・作業所工賃の実績について

- ・入所施設の布団等、清潔さ向上委員会の設置について

平成 28 年 10 月 27 日

**【議案】**

- ・金融機関からの借入(12月賞与支給等に係る一時借入金)について

**【報告事項】**

- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・アトリエ ヴェルデの移転について
- ・映画撮影について
- ・社会福祉法等の改正について

平成 28 年 12 月 1 日

**【議案】**

- ・指導監査の指摘事項に対する改善について

**【報告事項】**

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・一時的運転資金貸借契約の延長について
- ・神奈川県共同募金会への寄付について
- ・社会福祉法等の改正について

平成 28 年 12 月 28 日

**【報告事項】**

- ・12月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオの状況について
- ・社会福祉法等の改正について
- ・広報板の設置について
- ・保育園での事故を受けた対応について
- ・緑友会施設の火災保険等加入状況について
- ・処遇改善委員会の改善項目について
- ・業務見直し分会の設置について

平成 29 年 1 月 25 日

**【議案】**

- ・定款の変更について(基本財産の増等)
- ・定款の変更について(社会福祉法の改正)
- ・みどり園防犯対策門扉設置工事等の入札について
- ・清川ホーム防犯対策門扉設置工事等の入札について
- ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・評議員選任・解任委員会の開催について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会委員の報酬及び費用弁償に関する規程の制定について

**【報告事項】**

- ・アトリエ ヴェルデ退去に係わる財産放棄について
- ・社会福祉法法人向け役員賠償責任保険加入について

平成 29 年 2 月 22 日

**【報告事項】**

- ・2月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・成瀬スタジオ建設工事について
- ・成瀬スタジオ未活用地の売却について
- ・平成28年度の年間収支見通しについて
- ・平成29年度事業計画について
- ・平成29年度予算について
- ・職員数について
- ・決算説明時の4つのグラフの見直しについて

平成 29 年 3 月 30 日

#### 【議案】

- ・平成29年度事業計画について
- ・平成29年度予算について
- ・支援部門総括責任者の任命について
- ・つくし3事業統括責任者の任命について

#### 【報告事項】

- ・成瀬スタジオの状況について
- ・平成28年度決算見通しについて
- ・みどり園既存棟改修工事(第5期)について
- ・平成29年度理事会開催日程について

### 3 代表者会議

理事長、理事長職務代理人、長塚顧問、総務局長、総務部長、各施設長を構成員として、毎月(年12回)開催。法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な課題等についての協議や事業の報告等を行い、法人全体で共通認識や意思統一を図った。

### 4 広報戦略会議

理事長、理事長職務代理人、担当理事、総務部担当職員2名を構成員とし、毎月(年12回)開催。広報誌の内容、各施設ホームページの修正及び基本資料(パンフレット)の作成、事業報告の作成などに関して協議を行った。また、参与、理事長職務代理人、総務部職員1名を編集委員とし、平成28年度に新たに職員広報誌「ゆう」を発行した。

- ・基本資料作成  
法人本部、伊勢原ふたば保育園、本厚木ふたば保育園
- ・職員募集チラシ・清川ホーム職員募集チラシの作成
- ・広報板を作成し、9箇所に設置
- ・ホームページの修正:求人サイトのリニューアル
- ・道灌まつり用の顔出し看板の作成
- ・年賀状の作成
- ・各施設の事業報告書の作成
- ・広報紙「福祉の輪 広げたい」  
第26号(7月発行):[表紙]「道の駅 清川」  
第27号(1月発行):[表紙]日本遺産「大山詣り」
- ・法人内広報誌「ゆう Vol.01」の発行

### 5 処遇改善検討委員会

代表者会議の構成員により年3回開催。9月に実施した職員現況等調査で提案された職員の処遇に係る改善項目について検討を行った。

#### 検討項目

- ・運転手当の回数制限の検討
- ・結婚祝金の額と回数の検討
- ・副業のしやすい就業規則の文言の検討
- ・年末調整の振込の検討

### 6 表彰委員会

代表者会議の構成員により年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰  
20年表彰 1名
- ・表彰日 平成29年3月24日(法人設立日)

## 7 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者及び職員の健康管理・疾病予防対策等について協議し、その対応を図った。

検討項目

- ・各施設の感染症罹患状況の報告及びその対策について
- ・職員健康診断について
- ・インフルエンザ予防内服について
- ・ストレスチェック実施に向けての検討について

## 8 職員交流委員会

平成26年度から職員交流検討委員会を組織し、法人全体の職員交流会を実施してきた。平成28年度から職員交流委員会に名称を変更し、引き続き法人全体の職員交流会を開催するほか、第1回サークル活動としてスキー・スノーボードツアーを実施した。

○職員交流会

- ・内 容 懇親会(会場:シークレット バンクエ)
- ・委員長 菅原 敦(清川ホーム施設長)
- ・開催日 平成28年11月18日(金) 午後6時30分から
- ・参加者 62名(職員60名、子ども2名)

○スキー・スノーボードツアー

- ・開催日 平成29年3月5日(日)
- ・場 所 新潟県 かぐらスキー場
- ・参加者 9名

## 9 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名、総務部1名を構成員として年6回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。

検討項目

- ・食中毒対策について
- ・厨房、食堂の衛生管理について
- ・行事食について
- ・施設間の情報交換

## 10 栄養士会議

栄養士2名、調理員1名を構成員とし、年6回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。

検討項目

- ・食中毒対策について
- ・厨房機器入替の検討
- ・食材費高騰に伴う節約について
- ・災害時のメニューや非常食の把握について
- ・各施設間の情報交換

## 11 入所施設の布団等・清潔さ向上委員会【新】

総務部長、みどり園支援員2名、清川ホーム支援員2名を構成員として、年4回開催。入所施設の布団等の状況を確認し、清潔レベルを向上するための検討を行い、平成29年度から、みどり園の布団等をリースとすることとした。

## 12 衛生管理点検

衛生管理委員(非常勤特別職員)により、給食を提供している5施設の調理場、食品庫、食堂等の衛生管理点検を月1回以上、随時かつ抜き打ちで実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園 ・つくし

## 13 施設整備等

- ・みどり園既存棟改修工事(第4期工事)
- ・(仮称)成瀬スタジオ用地の開発設計業務及び建築設計委託業務
- ・(仮称)成瀬スタジオ用地の造成工事

### 平成28年度の課題に対する自己評価

(仮称)成瀬スタジオの未活用部分の土地売却による収入見込みで、4年連続の赤字決算という状況にはならないものの、財政の立て直しを行い、単年度収支の赤字脱却が法人として最も重要な課題であります。

また、新設が続く保育園や高齢者施設等により、保育士や支援員の確保が全国的な課題として急浮上してきています。当法人では、職員の処遇改善や求人サイト拡充等により職員確保対策には数年前より危機感をもって対応してきたものの、より一層対応を強化する必要性が生じています。

#### ① 財政面の強化

- ①-1 (仮称)成瀬スタジオ未活用部分の土地の確実かつ、より高額な売却の実現  
⇒ (仮称)成瀬スタジオ未活用部分の土地を含めた成瀬スタジオ用地全体の造成工事は完了したが、売却に伴う様々な課題の解決に不測の時間を要したため年度内の売却が出来なかった。
- ①-2 園児や利用者へのサービスや職員の処遇等、必要な部分の低下がない中での予算編成及び予算執行管理による財政の改善  
⇒ 園児や利用者の目線に立ったサービスを提供するとともに、徹底した予算執行管理により法人全体で4年ぶりに黒字を確保できた。

#### ② 職員確保面の強化

- ②-1 職員募集方策のより一層の検討と実行  
⇒ 職員募集看板の設置や求人広告掲載等により、支援員3名、保育士1名、看護師1名、調理員1名の新規正規職員を採用できた。特に、清川ホームの職員募集については、求人チラシの新聞折込やポスティングを行い、一定の成果を得ることができた。
- ②-2 離職防止対策のより一層の検討と実行  
⇒ 処遇改善検討委員会を開催し、運転手当、結婚祝金の増額や副業のしやすい就業規則の見直しを行った。また、職員交流委員会を開催し、第3回職員交流会を行ったほか、新たに職員向けの広報誌を発行するなど福利厚生充実を図った。離職者数は、正規職員8名と多かったが、中堅職員が多く、また、離職理由は結婚や転居に伴うものであり、処遇に対する不満というよりも自らの人生を考えた上での選択であり、やむを得ない退職と考える。



## II みどり園

### 1 指定障害者支援施設 みどり園

#### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	68	68	69	68	68	68	69	69	69	68	69	69
入所	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
退所	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
通所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
27年度 在籍数	69	69	68	68	66	67	68	68	67	67	68	68

#### (2) 行事

4月 1日	開園記念式
6月 2日 ~3日	一泊旅行(鬼怒川温泉)
6月 16日 ~17日	一泊旅行(伊豆宇久須温泉)
6月 28日	つくし衣類訪問販売
7月 8日	平塚七夕祭り
7月 24日	サマーフェスティバルin清川ホーム
8月 20日	納涼祭
8月 27日	地引網
9月 11日	向上高校こゆるぎ祭
9月 24日	伊勢原市障害者スポーツ大会
10月 19日	日帰り旅行(築地・東京タワー)
11月 3日	バザー
11月 15日	ハロウィンパーティー
11月 27日	ミカン狩り
12月 13日	つくし衣類訪問販売
12月 19日	クリスマス会
12月 23日	向上高校チャリティーコンサート
1月 10日	新年会

#### (3) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 25日 9:40~	避難訓練 (日中火災想定)	1階男性棟洗面所より出火想定で訓練を行った。
5月 26日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
7月 20日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
7月 25日 9:30~	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
9月 1日 10:00~	防災訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い、火災訓練、担架による搬出訓練を行った。
9月 26日 9:30~	避難訓練 (がけ崩れ想定)	職員のがけ崩れに対する意識は向上してきているため、利用者へ避難の必要性を周知した。

11月 18日 13:55～	避難訓練 (夜間地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。利用者を園庭に直接避難誘導した。
12月 16日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
2月 19日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
3月 8日 13:30～	総合訓練 (夜間火災消防立会い)	夜間に1階大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。夜勤者2名の時間帯を想定し訓練を行った。
3月 28日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
3月 29日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

#### (4) 広報

「園だより」を3回発行した。

- ・第164号(6月11日発行) 新年度あいさつ・開園記念日・神奈川県障害者スポーツ大会・月間外出・移動販売・ひなまつり・職員紹介
  - ・第165号(11月12日発行) パンバイキング・納涼祭・伊勢原市障害者スポーツ大会・一泊旅行・つくし衣類訪問販売・平塚七夕祭り・精陽学園秋祭り
  - ・第166号(3月11日発行) ハロウィンパーティー・日帰り旅行・バザー・みかん狩り・クリスマス会・向上高校チャリティーコンサート・新年会・映画鑑賞会・行事食
- 常設記事      グループ便り   フォトギャラリー   お知らせ   編集後記

#### (5) 権利擁護、本人活動支援

##### ① 利用者自治会

年間9回開催。旅行・納涼祭等の行事について話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。

##### ② 人権委員会

年2回アンケート実施。利用者の呼称・利用者への情報提供・プライバシーの保護・インフォームドコンセントについて話し合った。

#### (6) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
5月 23日 13:45～	防災研修 防災に係る説明	防災マニュアルを使用し、各種機材の使用方法や各種災害について学んだ。
6月 7日 13:45～	医療研修 バイタルサインの測定法等	バイタルサインの測定法及び基準値と対応等について学んだ。
6月 20日 13:45～	新人研修:障害者総合支援法の内容 講師:つくし相談室柳田室長	柳田室長を講師に迎え、新人職員を対象とした、障害者総合支援法の内容について学んだ。
6月 22日 13:30～	メンタルヘルスケアについて 講師:埜崎 健治氏	感情労働者のストレス対策について学んだ。
8月 29日 17:30～	防犯研修 不審者対応について	伊勢原警察生活安全課(2名)の指導の下、不審者対応について実践交え学んだ。
11月 2日 16:00～	口腔ケアについて 講師:たんぼぼ歯科 志賀氏	障害をお持ちの方に対する口腔ケアについて学んだ。
12月 9日 13:30～	障害者差別解消法について 講師:又村 あおい氏	障害者差別解消法を踏まえた、障害のある方々への関わりや支援について学んだ。
2月 28日 13:30～	利用者のストレスを高めるために 講師:平本 護氏	利用者のストレスを高めるために、グループディスカッションを交え学んだ。

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ人数 97人 延べ利用日数 1008日 (平成27年度 97人 340日)  
 ・既存棟改修第1期工事により、4居室増とした。

### (2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業)

年間 延べ人数/日 779人/日 (平成27年度 780人/日)

(余暇活動支援事業)

年間 延べ人数/日 46人/日 (平成27年度 20人/日)

### (3) レスパイト事業【公益事業】

項目	28年度				27年度 合計	単位	
	夏期	冬期	春期	合計			
実利用人数	35	13	15	63	75	人	
延利用人数	229	36	44	309	355	人	
延利用時間	1,524	236	279	2038.5	2,373.0	時間	
利用があった日数	36	5	5	46	52	日	
土日休日利用	6	0	0	6	14	日	
一日平均利用人数	6.3	7.2	8.8	22.3	25	人	
最多利用者の利用日数	32	5	5	42	36	日	
昼食利用者	実人員	25	8	7	40	45	人
	延人員	163	21	22	206	214	人
送迎利用者	実人員	19	9	9	37	47	人
	延人員	128	22	25	175	211	人
年齢	平均 男/女	20・19.5/19.9	19.4・18/19.3	18.1・18/18.1	—	—	歳
	最小/最高	7/39	10/40	8/40	7/39	6/38	歳
所属	養護学校	12	8	8	28	27	人
	特別支援学級	9	1	3	13	26	人
	施設等	5	1	1	7	5	人
	ドリーム	1	0	0	1	4	人
	ジャペル(株)	0	0	0	0	0	人
	すぎな会 通所	0	0	0	0	1	人
	デイ工房 花	2	0	0	2	2	人
	ロータス授産センター	1	1	0	2	2	人
	ロータス花水木	1	0	0	1	1	人
	オアシス湘南	1	0	0	1	1	人
	悠トピア	1	0	1	2	2	人
	平塚ふたば会	0	0	0	0	0	人
	あとり	0	1	1	2	1	人
	横浜低温流通株式会社	1	1	1	3	3	人
日立製作所	1	0	0	1	1	人	
支援員の状況(臨時職員)	48	20	17	85	88	人	

サービスメニュー

プール(夏期) ドライブ 散策 積み木  
 ビデオ鑑賞 スタンプ画の旗作り など

夏期のみ

- ・今期より日曜日を休みとし、開催日数が減となった。(42日→36日)
- ・今期は成瀬小の工事に伴い、石田小での開催となった。
- ・スポーツ広場のインストラクターと共同で行った。(石田小開催日のみ)

## 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 既存棟の改修工事については、引き続き工事関係者と連携して入所利用者のサービス提供維持に努める。  
また、居室の改修の際には利用者の生活への影響を最小限にとどめるようにする。  
⇒ 年度ごとに継続して改修工事を行ってきたため、春先の工事は見合わせ、利用者に落ち着ける期間を増やした。9月より居室等改修工事を再開し、前年度の改修工事と同様に仮設間仕切り等を施すことで、入所利用者の生活への影響は最小限にとどめることができた。
- 2 夏は伊勢原市レスパイトサービス事業に加え夏祭り等の事業もあり、職員の負担も多く、初めての利用者やボランティアも多いので、安全性向上のため数年来実施日数の削減を市に要請してきた経緯がある。  
今年度は要望が通り、実施日数が減ったので『少ない日数になったものの楽しさや満足度が高まった』と評価されるようサービス内容等を更に検討し、努力する。  
⇒ 実施日数が削減されたものの職員数に余裕がなかったため、例年通りのサービス提供となってしまった。
- 3 より一層のサービスの向上を目指し、グループ編成を検討する。  
⇒ グループ同士の連携を強め、サービス向上に努めることができた。グループの編成については、グループの枠を超えての取り組みを実施することができた。この取り組みを足がかりに更なるグループ編成に繋げていく。

### Ⅲ 清川ホーム

#### 1 指定障害者支援施設 清川ホーム

##### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27年度 在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	52

##### (2) 行事

5月 14日	ふれあいフェスティバル
7月 24日	サマーフェスティバルin清川ホーム23
12月 20日	クリスマス会
1月 13日	どんど焼き
1月 24日	成人・敬老のお祝い
月例行事	みんなの会

##### グループレクリエーション

	一泊旅行
Aグループ	10月24日～25日 群馬方面
Bグループ	11月7日～8日 浜松方面
Cグループ	10月3日～4日 鴨川方面
Dグループ	3月13日～14日 伊豆方面

##### (3) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 12日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	地震の訓練が、定着しつつある。 浄水訓練も行った。
5月 10日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:日中想定)	日中1階廊下から出火を想定して避難訓練を行った。 消火栓訓練も実施した。
6月 14日 9:00～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い非常食で昼食。 清川村総務課職員の立会いのもと実施した。
7月 12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:日中想定)	午前中、1階廊下から出火を想定して避難訓練を行った。 消火栓訓練も実施した。
8月 9日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした。 浄水訓練も実施した。
10月 18日 9:00～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い非常食で昼食。 訓練終了後、反省会を実施し問題点を確認した。
12月 19日 9:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	スムーズに避難場所まで移動できた。除雪機の操作訓練を行った。
1月 10日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした。大雪に備え除雪機の操作訓練を行った。
2月 14日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	夜間3階事務室から出火を想定、スモークマシンを使用して避難訓練を行った。
3月 21日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした。大雪に備え除雪機の操作訓練を行った。

業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も2回実施した。

## (4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第125号(9月24日発行)	サマーフェスティバル、日帰りレク行事報告他
第126号(3月25日発行)	一泊旅行、クリスマス会、各グループ反省、その他行事報告
常設記事	作業収益報告、お知らせ、編集後記

## (5) 権利擁護、本人活動支援

### ① あおぞらプラン(かながわ知的障害者権利擁護プラン)の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。

(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

### ② 苦情解決(厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

年間10回の相談会を実施。延べ36名の利用者が相談した。会議室をオンブズマン相談会に利用。相談者1人ひとり、順番に相談を行っている。相談内容については、改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応した。

### ③ 本人活動支援(厚木地区としての活動)

厚木地区の本人活動支援(Aネット協力員)運営会議に年間5回参加しました。今年度は、事務局として会議の準備(開催場所の設定、書類作成、案内通知等)にあたりました。利用者研修会として、メグミルクの工場見学や野外炊飯に参加しました。

### ④ 本人活動支援(清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会

年間12回実施。今年度も食事に関する希望が多く寄せられた。利用者間の関係、日頃の生活の問題など内容もバラエティに富んだものとなっている。資料を用意し、文字の情報も提供した。アンケート箱を設置したがあまり活用されていなかったため、代筆等のサポートも今後は検討していく。

## (6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。人権についての研修、防災センターへの見学、外部研修(感情労働・食事介助の基本について)の研修報告を行った。外部講師を招き、とろみ剤と摂食嚥下についての講義、防犯対策として、不審者対応訓練を行った。

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ人数 87人 延べ利用日数 1,385日 (平成27年度 86人 1,208日)

### (2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 延べ人数・延べ利用日数 245人/年 (平成27年度 287人/年)

## 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の日中活動を、より一層充実させるとともに、加齢に対する支援方法を更に検討し推進していく。  
⇒ しいたけ栽培作業を中心に限られた環境のなかで工夫をしながら、日中活動を提供することができた。階段昇降や園庭のまわりの柵を使って足腰のリハビリメニューを提供した。
- 2 施設内外の研修を積極的に取り組み、職員の資質向上につなげていく。  
⇒ 施設外研修は、日課に支障が及ばない範囲で参加した。施設内研修は、虐待防止研修など基本に立ち返る内容を重視した研修を行った。厚木警察署生活安全第一課の協力のもと、不審者対応訓練を今年度から研修内容として取り入れた。
- 3 避難訓練の内容の向上と、地域防災への取り組みにできる限り貢献する。  
⇒ 避難訓練は、あらかじめ利用者に各階に移動していただき、生活の拠点から避難する現実に沿った訓練を提供した。清川村の法論堂地区と坂尻地区の合同避難訓練に参加した。
- 4 チームワークを意識し必要に応じてチームとして統一した支援ができるようにする。  
⇒ 変則勤務でも統一した支援が行き届くよう、記録ソフトの伝言機能を積極的に活用して、情報の共有を今まで以上に意識した支援を心がけた。
- 5 地域の行事や清掃活動等に積極的に参加し、清川村との連携を今まで以上に強化する。  
⇒ 厚木地区の知的障害者の人権活動であるAネット協力員の事務局を清川村と連携し、やまびこ館・せせらぎ館の一室を借用し、運営会議を年間5回開催した。清川村の法論堂地区の会場場所に清川ホームの一室を提供するとともに同地区高齢者の試験的な送迎を検討した。

# 伊勢原ふたば保育園

## 1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

### (1) 平成28年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1才	13	18	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18
2才	18	15	15	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3才	20	26	26	26	26	26	26	27	27	27	27	27	27
4才	28	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23
5才	30	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
合計	120	113	114	115	116	116	117	118	118	118	117	117	117
	27年度	118	118	118	122	122	122	122	122	124	124	124	124

### (2) 行事

4月	2日	新年度保育説明会
	4日	新入園児歓迎会
	22日	5歳児プラネタリウム見学
5月	20日	5歳児春の遠足(平塚総合公園)
	31日	4歳児春の遠足(防災の丘公園)
6月	10日	4・5歳児牧場見学
	14日	不審者対応訓練
	17日	田植え体験(5歳児)
	28日	けやきの郷との交流会(4歳児)
7月	1日	プール開き
	7日	七夕の集い
	8日	おたのしみ会(5歳児)
	16日	夏まつり
9月	2日	引き渡し訓練
10月	1日	運動会
	7日	稲刈り体験
	13日	芋ほり(4, 5歳児)
	14日	3歳児秋の遠足(防災の丘公園)
	18日~20日	保育参観・懇談会
	21日	4歳児秋の遠足(新江の島水族館)
	27日	消防車見学1回目(3・4・5歳児)
	28日	5歳児秋の遠足(ゾーラシア)
11月	1日	消防車見学2回目(3・4・5歳児)
	14日	高森荘との交流会(5歳児)みかん狩り(4歳児)
12月	3日	リズム発表会
	22日	クリスマス会
1月	6日	新年の集い
	10日~13日	5歳児個人面談
	13日	新春マラソン大会
	16日~20日	4歳児個人面談
	23日~27日	3歳児個人面談
	30日~2・3日	2歳児個人面談
	31日	石田小との交流会(5歳児)
2月	3日	豆まき
	6日~10日	0, 1歳児個人面談
3月	2日	5歳児卒園遠足(八景島シーパラダイス)
	3日	ひなまつり
	7日	お別れ会
	11日	卒園式

※このほか、毎月、身体測定・誕生会を行う。



### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月21日 10:00	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について紙芝居等を通して学んだ。
5月10日 予告なし	避難訓練 (地震・火災想定)	非常ベルを実際に慣らして訓練を行う。子ども達もベルの音に反応し、速やかに避難する事が出来た。(予告なし)
6月11日 予告なし	避難訓練 (火災想定)	土曜日の異年齢の保育中の火災を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月14日 予告なし	避難訓練 (不審者想定)	不審者が2階に上がり、保育室に侵入しようとするのを阻止している間に、不審者から子ども達を避難させる訓練を行った。(予告なし)
7月12日 予告なし	避難訓練 (地震・火災想定)	バケツリレーを行い、実際に子ども達の前で火を消す訓練を行った。(予告なし)
8月2日 予告なし	避難訓練 (地震・火災想定)	おやつ中の訓練だったが、速やかに避難する事が出来た。(予告なし)
9月2日 9:45	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練を行った。
16:00～	引渡し訓練	避難訓練と同時に、16:00に職場・家庭からお迎えに来てもらい、保護者への引き渡し訓練を行った。実際に煙(無害)を使用し、煙の動きであったり、避難の仕方などを学ぶ事が出来た。
10月4日 予告なし	避難訓練 (台風・冠水想定)	台風で園の側の川が氾濫したことを想定した訓練であったが放送をよく聴き2階ホールに避難できた。また、台風や冠水などをイラストを用いて子ども達に伝える事が出来た。(予告なし)
11月8日 予告なし	避難訓練 (地震・火災想定)	突然の火災発生でも放送をよく聴き、火災現場を把握し、適切な行動がとれた。(予告なし)
12月6日 17:00	避難訓練 (落雷停電想定)	停電後、各クラスのランタンを使用しながら、安全に避難する事が出来た。
1月10日 予告なし	避難訓練 (火災想定)	実際に煙(無害)を使用し、1階から2階に煙が流れていく中、煙の中を安全に避難する経験が出来た。(予告なし)
1月17日 予告なし	避難訓練 (不審者想定)	保護者が出入りする中、不審者が室内に侵入してきたので、事務所に避難し中から鍵とカーテンを閉め通報する事が出来た。
2月2日 7:45	避難訓練 (火災想定)	早朝保育時間中の火災発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。
3月28日 予告なし	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、第1広域避難場所(成瀬小学校)までの道が通れない想定で、城ノ腰公園に速やかに避難することができた。避難車は使用せず、0歳児はおんぶで避難した。(予告なし)

### (4) 広報

- 園だより、クラスだより 毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページの随時更新

## 2 その他の取り組み

### (1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 31件 (平成27年度 39件)  
施設開放時・電話相談・面談等

#### イ 子育て家庭交流事業

##### ① 園庭開放

園庭を開放し、地域の子育て同士の交流、相互の情報交換の場を提供し、また、保育園児との交流を図った。

##### ② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

年4回成瀬地区の子育て支援の取り組みとして、成瀬中学校の学区にある教育機関の教職員で構成している「伊勢原市教育センター 地域教育機関等連絡協議会 Bブロック」に当園も参加。地域の挨拶運動を重点にのぼり旗を輪番で設置するなど交流を行ってきた。

#### ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

○7月26日・27日・28日 1名

○8月 2日・ 3日・ 4日 3名

○8月 9日・10日・12日 2名

市内在住の中高生に、夏休みを利用した保育体験を通して、生命の大切さとともに、保育園や保育士の仕事を理解できるよう体験してもらった。

#### エ 世代間等交流事業

○ 6月28日 湘南けやきの郷との交流会

湘南けやきの郷に4歳児が訪問し、利用者の方と歌・手遊びなどのレクリエーションやプレゼント交換を行い、交流を図った。

○11月14日 ケアーセンター高森荘との交流会

湘南けやきの郷と同様の交流を図った。

### (2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
28年度	2	1	1	0	3	0	1	1	1	2	0	0	12人
27年度	0	3	4	3	0	0	1	0	1	0	0	0	12人

### (3) 職員研修

実習生への指導方法を見つめ直し、改めて対応と評価を確認をしながら、勤務年数別に保育業務の役割を再度確認し、各自の役割を見つめ直し今後活かすような研修にする事が出来た。また、就学相談の流れや内容を知ること、年長児の保護者によりの確なアドバイスや就学相談につなげる事が出来た。

(園内研修)

月	日	内 容	受講人数
5	2日(月)	園内での緊急対応について(設備操作など) 相日防災	15人
5	31日(火)	救急法 (伊勢原市消防署)	25人 全職員
6	17日(金)	実習生への対応と評価	12人
7	6日(水)	保育業務の役割について(リーダー保育士)	4人
10	17日(月)	就学相談について(伊勢原市役所 教育センター・子ども家庭相談室)	15人
12	26日(月)	保育業務の役割について(勤務年数4年以上の保育士)	3人
1	23日(月)	保育業務の役割について(勤務年数1年~3年の保育士)	2人
3	3日(金)	自己評価・園評価 (主任)	15人

(外部研修)

月	日	場所	内 容	対象
4	22	横浜	神奈川県保育事業大会・総会	保育士
6	1	港南台	2歳児の自我の育ちを支える保育 遊びが育つ環境と保育者の援助	保育士
6	8	横浜	小児の呼吸器・アレルギー疾患の診断、治療 の最前線	看護師
6	20	港南台	4・5歳児のクラス運営 4・5歳児の遊びと環境 7/26 計2回	保育士
6	23	横浜	ジカウイルス感染症・デング熱等の予防の取 り組み	看護師
6	28	横浜	3歳児の発達と保育 3歳児の保育の実践 7/19 計2回	保育士
6	29	平塚	どの子にも優しい子育てと保育 乳幼児期における支援者の関わりについて	看護師 保育士

7	7・8	小田原	第57回関東ブロック大会保育研究大会	保育士
7	8	横浜	保育園などで話題となる感染症の症状と対策	看護師
7	11	港南台	2歳児の自我の育ちを支える保育 遊びが育つ環境と保育者の援助	保育士
7	15	平塚	発達障害の乳幼児期、学齢期における支援体制	保育士
7	28	伊勢原	給食研究会	調理員
7	29	港南台	幼児に教える防災・防犯 職場のメンタルヘルス対策 9/16 計2回	保育士
7	29~31	東京	自閉症スペクトラムの理解と支援	看護師
8	3	秦野	特定給食施設等特別講習会	調理員
11	1	藤沢	保育所等の健康研修	保育士
12	12	伊勢原	保育所における災害時の対応について	保育士 調理員
1	23	横浜	保育園利用者相談室研修会	保育士
1	26	秦野	特定給食施設等講習会 2/17 計2回	調理員
2	20	海老名	保育関係説明会	園長
2	21	横浜	保育の姿と保育所保育指針を学ぶ研修会	保育士
2	17	秦野	特定給食施設等講習会	調理員
3	14	秦野	乳幼児及び障害児の摂食嚥下機能発達に関する研修会	保育士
3	21	伊勢原	第2回保育所給食研究会	調理員

近隣で行われる研修には積極的に職員を派遣し、職員会議において研修報告を行った。

## 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 職員の資質や専門性の向上を図り、保育実践の質を高めていく。  
⇒ 外部研修や園内研修を通し職員の専門性の向上を図り、研修内容を職員会議等で全体に周知することで園全体の質の向上を図ることができた。
- 2 保育理念である「子どもの最善の利益」を全職員が理解、共有し実践していく。  
⇒ 職員一人ひとりが「子どもの最善の利益」について改めて考え、文章化することで保育に反映しながら実践することができた。
- 3 管理職、リーダーを筆頭に全職員が一体となり、円滑な保育園運営ができるようチームワークの強化に努める。  
⇒ 問題が発生した時は、管理職やリーダーにすぐ報告し、臨時ミーティング等を行うなど、問題解決につなげることができた。

- 4 小学校との連携を図り、子ども達が戸惑うことなく入学できるよう保育に活かしていく。  
⇒ 地域連絡協議会での情報収集や園内学習として、教育センター職員の就学相談研修を取り入れ保育に活かすことができた。
- 5 保護者支援・地域の子育て支援センターとして、さらなる充実を図る。  
⇒ 近年増加している支援が必要な保護者に対し、必要に応じて面談することで、保護者園児の両面から支援することができた。支援センターとしての園庭開放等は、地域の方にも浸透しており、多くの方に利用していただいた。
- 6 年度中に保育士5名、事務員1名が産休に入るなど不測の状況になったが、管理職も保育に加わりまた、総務部が派遣職員の確保に全力で取り組んだことにより、円滑な保育を行うことができた。

## V 本厚木ふたば保育園

### 1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

#### (1) 平成28年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	4	5	4	5	6	8	8	8	8	9	9	9
1才	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
2才	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3才	13	9	9	9	10	10	10	10	10	11	11	11	11
4才	14	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
5才	14	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	79	60	62	61	63	64	66	66	66	67	68	68	68
27年度	79	60	61	63	63	63	63	63	61	62	62	62	62

#### (2) 行事

4月	1日	入園・進級式 保育説明会及び懇談会	1月	6日	新春の集い
				30日	こま回し大会
5月	9日	さつまいも苗植え	2月	3日	開設5周年記念事業
	27日	遠足(荻野運動公園 3歳以上)			豆まき
6月	1日～7月1日	個人面談		18日	生活発表会
	6日	田植え(5歳)	3月	3日	ひなまつり会
7月	7日	七夕の集い		10日	卒園遠足(3歳以上)
	16日	夏まつり		17日	卒園式
9月	8日	引渡し訓練		21日	新入児面接
	15日	お月見会		31日	修了式
10月	7日	稲刈り(5歳児)			
	15日	運動会			
	20日	プラネタリウム			
	21日	芋ほり			
11月	4日	遠足(三川公園 3歳以上)			*各月に、誕生会、身体測定
	11日	みかん狩り(4・5歳児)			避難訓練などを実施
	18日	クラス懇談会			
12月	5日～1月27日	個人面談			
	16日	お楽しみ会(七沢自然ふれあいセンター 5歳)			
	22日	クリスマス会			

### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月26日 10:00～	避難訓練 (図上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について紙芝居などを通して話し合った。乳児クラスは保育士の動きを確認した。
5月10日 9:45～	避難訓練 (地震想定)	各クラスで防災頭巾の被り方の説明をした。避難通路までの避難訓練を行った。3・4・5歳児は園庭へ避難。
6月7日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	園内放送をよく聴き、落ち着いて行動する訓練を行った。
6月14日 9:45～	避難訓練 (不審者想定)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。
7月5日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	西側非常階段の火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示で行動した。
8月2日 14:55～	避難訓練 (地震想定)	午睡中の地震発生を想定して、訓練を行った。
9月8日 16:00～	避難訓練 (地震想定総合訓練)	警戒宣言発令を想定し、避難について紙芝居などを通して学んだ。
16:30～	引渡し訓練	16:30～17:00の時間帯に保護者対象の引渡し訓練を行った。台風のため、急きょエントランスホールでの引渡しとした。
10月4日 17:30～	避難訓練 (火災想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月8日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。スムーズに避難でき、園に連絡できた。
12月6日 9:00～	避難訓練 (火災想定)	7階住居からの火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示でビルの前まで避難した。
1月10日 9:45～	避難訓練 (地震(震度5)想定)	予告なしで園内放送で避難した。
2月7日 8:00～	避難訓練 (地震想定)	早番の時間帯での避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
3月6日 9:30～	避難訓練 (火災想定)	火災現場を把握し、適切な避難ができるようにした。 (予告なし)

### (4) 広報

- 園だより、クラスだより毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページ内の「園内イベント紹介」は、行事を行うごとに更新した。

## (5) 職員研修

### \*外部研修

4月 9日	新任保育士激励会(新任保育士)
6月 16日	幼保小連携連絡会研修会
22日	食物アレルギー緊急時対応研修会
22日	給食施設従事者講習会
7月 27日～29日	乳児保育担当者研修会
8月 6日	幼児保育音楽研修会
10月 17日	食品衛生講習会(給食における食中毒防止対策及び衛生管理について)
19日	保育士部会(加配担当保育士研修)
11月 1日・日・11日・12月8日	神奈川県子育て支援員研修
23日	乳幼児期のアレルギー対応(保育士1名)
30日～12月2日	主任保育士研修会
12月 8日	発達障害に関する研修会
1月 25日～27日	保育所等事故予防研修

### \*内部研修

8月～10月	計3回 新人研修「児童虐待」「発達障害」「大震災から学ぶ」
6月～3月 年間通して	計3回 園内研修「記録の書き方」「評価の仕方」「次年度の保育について」 それぞれの研修発表

## 2 その他の取り組み

- ① 和太鼓への取り組み  
年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組む。  
礼儀作法や、姿勢、リズム感など真剣に取り組む事ができた。
- ② 厚木看護専門学校訪問  
看護学生の手作りおもちゃで遊んだ。  
0歳児から参加でき、楽しむ事ができた。

## 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 認可保育所として2年目になり、より安定した運営をめざすと共に、開設5周年記念事業を開催する。  
⇒ 入園の手続き方法など、厚木市保育課と連携を密に取りながら運営した  
また、人形劇「だぶだぶ」を招き、開設5周年事業を園内で盛大に行った。
- 2 地域の子育て拠点として認識され、より一層信頼を高められるよう努める。  
⇒ 日々の保育に追われたり、職員配置も余裕がないため、地域の子育て支援の充実までには  
至らなかったが、園内見学などは大いに取り入れた。  
厚木市で取り組んでいる「赤ちゃんの駅」としての、授乳や休憩の利用提供はできた。
- 3 職員の資質や専門性の向上を図り、保育実践の質を高める。  
⇒ 研修等を通して職員の資質や専門性の向上に努め、保育に取り入れた。
- 4 職員の専門性を生かした保育園運営に取り組む。  
⇒ 研修等を通して職員の専門性をより向上させ、保育や保護者支援に活かせるようにした。
- 5 安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。  
⇒ 保育士としての自覚を向上を図り、子ども達一人ひとりに対し丁寧に、より安心安全な  
保育を目指した。



## VI げんき家

### 共同生活援助事業

#### 1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 4名

#### 2 利用者に対する支援

知的障害のある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

#### 3 ホームの1日

時間	主な内容
7:00	起床 朝食 出勤 【職場、施設、作業所など】
17:30	帰宅 (世話人と夕食づくり)
18:30	夕食 (世話人と食器片付け)
19:30	入浴 自由時間 就寝

※ 休日は、自由行動。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

入居利用者1名が入院されていた際には、健康管理について世話人と連携を図ったので、早期対応が行なえた。

みどり園がバックアップ施設となっており、職員は世話人と協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

#### 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス管理責任者を中心に、入居者の特性を理解しサポートする。  
⇒ サービス管理責任者を中心に、ケース検討会を行ない、入居者それぞれの支援について見直しを行った。
- 2 一般就労している方の就労継続と高齢入居者の健康管理のサポートを行う。  
⇒ 一般就労している利用者にはコミュニケーションをとり、必要に応じてサービス管理責任者を中心とした施設間連携の体制を整え、定着支援のサポートを行うことができた。高齢入居者の健康管理については、世話人との連携を図りながら、適切な対応を行うことができた。
- 3 職員は、法人内外の研修参加を継続する。  
⇒ 法人内外の研修会に参加した。  
研修内容 9月 『知的障害や自閉性の理解とグループホームにおける支援のポイント』

# Ⅶ つくし 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

## 1 利用者数(月別の開所日数、1日平均利用者数)

### 平成28年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	26	26	26	26	26	27	26	25	26	24	27	25.9
在籍数	47	48	49	49	49	49	47	47	46	47	47	48	47.8
延べ利用者	596	612	655	623	529	600	578	582	581	566	564	632	593.2
平均 作業工賃	12,688	13,375	13,275	12,781	15,139	13,139	13,730	12,597	14,556	10,863	11,524	12,623	13,051

### 平成27年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	25	26	27	24	26	27	23	24	26	25	26	25.4
在籍数	46	47	47	45	47	48	47	47	47	46	46	47	46.7
延べ利用者	564	512	578	538	466	568	583	567	553	554	585	615	556.9
平均 作業工賃	15,393	12,062	12,243	12,830	14,239	11,273	12,212	11,567	15,264	12,093	12,851	13,558	12,857

## 2 作業内容

施設内作業

自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、  
検針検品、段ボール組立、小型家電リサイクル解体

施設外就労

出向先の施設清掃/倉庫内での検品、仕分け、セット作業

自主事業

オリジナルカレンダー、絵葉書、手芸品等の販売、リサイクル品販売など

## 3 その他の活動

就労支援活動

S S T (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 3名 (27年度 4名)

実習生受入

東海大学健康科学部看護学科、東海大学健康科学部社会福祉学科

## 4 行事

4月 5日	花見会 (秦野市中央運動公園)
15日	東海大学健康科学部看護学科体験発表(東海大学伊勢原キャンパス)
17日	西湘地域統一メーデーバザー (平塚市総合運動公園)
5月 12日	日帰り旅行 (千葉県マザー牧場)
18日	スポーツ交流会 (秦野・伊勢原地区 秦野市総合体育館)
6月 14日	ほっぷすてっぷガレージセール (サンライフ鶴巻)
28日	みどり園衣類訪問販売
7月 8日	平塚七夕見物
8月 2日	蕎麦打ち体験 (食堂)
25日	わいわいマーケット映画会 (伊勢原市民文化会館)
30日	暑気払い (すたみな太郎)
9月 14日	バーベキュー大会 (県精連秦野足柄上地区 表丹沢野外活動センター)
24日	伊勢原市障害者スポーツ大会 (伊勢原市体育館)
10月 1日 ~2日	道灌祭(つくし敷地内)
7日	西湘地区障害者就職面接会
7日	ソフトボール大会 (県精連 大神グラウンド)
22日	みくるべ病院祭
11月 5日	精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等 シティプラザ)
16日	防犯訓練(伊勢原スタジオ)
12月 2日	ハートメッセージ (厚木市文化会館)
3日	ふれあい福祉まつり (すこやか園)
6日	「障害者週間」啓発に伴う街頭キャンペーン
7日 ~8日	一泊旅行 (静岡県伊豆方面)
13日	みどり園衣類訪問販売
19日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
21日	精神障害者スポーツ大会ボウリング競技会 (湘南東急ボウル)
1月 15日	精神障がい者事業所連絡会主催合同新年交流会 (シティプラザ)
2月 13日	梅見会(別所梅林)
24日	秦野足柄上地区ブロック交流会 (ボウリング大会)
25日	おおやまみち梅まつり販売会
28日	春色フェスタ
3月 4日	日産ロードレース出店 (日産自動車(株)テクニカルセンター内)

※ その他、絵手紙教室、街頭募金、初詣、送別会など

## 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月29日	避難訓練(地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月7日	避難訓練(火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

### 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 平均工賃が減少してしまったので、高単価で安定した仕事の獲得を図り、工賃向上をめざす。  
⇒ 施設外作業では、単価の良い仕事の受注量減少により昨年度と比べて収入減となった。  
・施設内作業では、高単価ではないが安定した仕事の獲得ができたことから、平均工賃は昨年度と比べて微増となった。  
・平均工賃向上に貢献している利用者の内3名が、一般就労に成功したこともうれしいことではあるが、平均工賃向上にはマイナスの面がある。  
平均工賃向上には努力していくが、それ以上に一般企業就労支援にも努力をしていきたい。
- 2 魅力のある活動を提供し、更に毎日の利用人数増をめざす。  
⇒ 多種多様の作業、SST（社会生活技能訓練）の取り組み、月1回程度のレクリエーション、絵手紙教室等を提供した。魅力ある活動（利用者のやり甲斐のある作業等）を提供し、昨年度より延べ利用者人数が大幅増となった。
- 3 平成27年度は4名の利用者が一般企業に就労することができたので、引き続き円滑に就労できるように支援するとともに、一般企業や関係機関と連携をして、就労定着支援を強化していく。  
⇒ 平塚ハローワークトータルサポーター、県しごとサポーター、つくし相談室と連携して就労支援に取り組み、3名の利用者が一般企業に就労することができたほか、1名の利用者が就労継続支援A型の事業所へステップアップすることができた。就労定着支援についても関係機関と連携して定着支援をしっかりと行うことができた。

## Ⅷ アトリエ ヴェルデ

定員 20名

所在地 伊勢原市田中70-5 サンライトオアシス101.201

### 1 利用者数(月別の開所日数、1日平均利用者数)

#### 平成28年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	22	22	23	20	23	23	20	23	22.2
在籍数	16	16	16	17	15	15	15	15	15	15	15	18	15.7
述べ利用者	178	247	243	250	222	220	269	250	239	259	225	282	240.3
平均 作業工賃	9,989	12,022	16,094	11,365	10,922	12,287	13,027	13,683	21,984	14,738	13,846	12,810	13,273

#### 平成27年度実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	22	22	23	20	23	23	21	23	22.3
在籍数	11	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	13	11.8
述べ利用者	183	214	231	226	181	188	192	177	204	201	191	188	198.0
平均 作業工賃	13,023	12,925	14,275	14,906	16,435	12,934	12,954	13,060	19,114	13,888	13,881	12,729	14,424

### 2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組立、化粧箱組立、電子部品加工

### 3 その他の活動

実習生受入 伊勢原養護学校実習生受入・七沢学園実習生受入  
教員実習受入 伊勢原養護学校の教員5名の施設体験実習受入

### 4 行事

5月14日(土) ふれあいフェスティバル  
6月23日(木) 日帰り旅行(ゾーラシア)  
7月7日(木) 暑気払い(すたみな太郎平塚店)  
9月3日(土) 保護者会  
9月8日(木) 防災訓練(防災センター見学)  
9月24日(土) 伊勢原市障害者スポーツ大会  
10月6日(木)～7日(金) 一泊旅行(西伊豆宇久須温泉)  
12月8日(木) 忘年会(台湾料理福源小野橋店)  
2月4日(木) 防災訓練  
3月4日(土) 保護者会

### 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月8日	避難訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。訓練後神奈川県総合防災センターを見学した。
2月4日	避難訓練 (火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

#### 平成28年度の課題に対する自己評価

- 安定した運営が図られよう利用者の増員に努める。  
⇒ 4月1日時点で16名でスタートした。フェイスブックの開設やグループホームにPRを行うなどにより利用者の獲得に努め最大時で18名、2名の増員となったが、利用に不安定な面が出たため、平均の利用人数の増にはつながらなかった。

2 利用者の工賃の向上を図る。

⇒ 新規の取引先を開拓し工賃の向上に努めたが思ったほどの受注がなく工賃の向上につながっていないので、今後の受注量や単価を交渉して行きたい。また、更なる新規取引先を開拓すると共に施設外就労の確保に努める。

3 安定した作業量の提供に努める。

⇒ ペン作業は作業量を増やしてもらうことが出来たため安定した作業の提供が出来た。他の作業も利用者一人ひとりに合った作業が安定的に提供できるよう、各取引先との協力関係の構築に努力する。

## IX つくし相談室

### 相談支援事業

1 開所日数 263日 (H27:267日) 1日平均相談件数 35.3件 (H27:26.5件)

### 2 相談実績

#### (1) 相談実人数 (障害者手帳による区分)

	身体 障害	重度心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他	総数
28年度	18	0	74	160	0	0	5	257
27年度	22	0	77	159	0	0	4	262

#### (2) 相談登録者数

	身体 障害	重度心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他	総数
28年度	24	0	115	190	0	0	29	358
27年度	22	0	112	176	0	0	28	338

#### (3) 支援方法

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援 会議	関係機関	その他	総数
28年度	708	809	138	4,793	15	50	2,772	0	9,285
27年度	608	812	182	3,643	4	73	1,761	0	7,083

#### 主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援 (サービス等利用計画) 4,575件
- ・健康医療に関する支援 2,345件
- ・就労に関する支援 457件
- ・その他合計 1,908件

### 3 相談実績の分析とその対応

27年度と比較して相談実人数は減少したが、支援件数は増加した。増加要因としては、相談受付から複数の関係機関等との調整までの一連の流れを1件とカウントする方法から、ひとつの相談事例に対する複数の関係機関等との調整をそれぞれ別にカウントする、より実態に即した方法に変更したことが挙げられる(そのため1日平均の利用件数も増加した)。また、ひとりの方に対しての丁寧な対応や家庭内の問題を抱えたケースの対応について、他の関係機関と連携し支援を行ったことも理由として考えられる。

このため平成29年度は、事業計画でも記載した業務の見直し、すなわちつくし相談室の相談支援体制の改善、職員がよりきめ細やかに、かつ、より丁寧な支援が行える「相談員支援の職員体制、支援方法」等を改善する業務の見直しを行いたい。

## 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談の件数の急増への対応  
計画件数の増加に対して、適切かつ丁寧な支援のため次の対策を講じる。
  - (1) 職員同士の事例の共有化や計画作成などの事務業務に専念するため、相談支援専門員の事務日の設定などスケジュール管理を引き続き行い、精査する。  
⇒ 週に1回事務専念日を設けて、各相談員が書類作成など行う日を設けた。
  - (2) 原則として相談は予約制、時間内対応とし、関係部署にも周知を行う。  
⇒ 相談は予約制を原則とした。時間外は緊急時対応のみとした。
  - (3) サービスの質を自己評価する意味で、定期的な利用者の評価を受ける機会を設ける。今後「利用者の声のアンケート調査」などの実施も検討する。  
⇒ 具体的には実施できなかった。
- 2 関係機関との連携強化  
問題の多寡に限らず様々な相談事例が増えており、より多くの他機関と連携し、利用者の問題点を多くの視点で検討し、より良いサービスを提供できるようにする。  
⇒ 虐待事例など対応の困難な利用者に関しては、市（基幹相談支援センター）等に相談し、迅速な対応を図った。また手厚い支援体制が必要な利用者の場合は、複数の事業所とサービス担当者会議を行い、情報共有・連携を密にし、対応した。  
また、相談登録者数の急増により、相談体制が整うまでの当面の間、新規登録行わない対応とした。（3月から現在に至る）
- 3 啓発活動の推進  
うつ病、自殺対策など精神障害に関連する事柄が社会的にも大きな問題になっている。今後相談室として精神疾患の増加傾向の分析や初期対応の啓発活動等を行う。  
⇒ つくし相談室としては、啓発活動は行っていないが、多くの関係機関の出席する自殺対策会議や薬物依存の講演会などへ参加をした。  
また、引き続き協議会等で伊勢原市や圏域の状況を把握するほか、相談支援事業所としての現状を発信して対応検討を促した。
- 4 第二種社会福祉事業である生計困難者に対する相談支援事業について引き続き円滑な運営に努める。  
⇒ 障害のある方の生活困窮に関する相談にその都度応じ、「かながわライフサポート事業」の支援対象者か否か県社協担当者とは相談・確認作業を行いつつ事業運営に努めたが、具体的に当該事業の対象者には至らなかった。なお、県社協が実施する総会・研修事業に必要な応じて出席し、事業の現状把握に努めた。

## X 施設間連携室

### 1 設置場所

伊勢原市粟窪605-1

### 2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸し出し調整等

### 3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
28. 4.22	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28. 5.9	さつま芋苗植え(みどり園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28. 5.9	さつま芋苗植え(みどり園)	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
28. 5. 12	日帰り旅行	三菱マイクロバス	つくし
28. 5. 14	ふれあいフェスティバル	キャラバン・綿菓子機	清川ホーム
28. 5.20	遠足	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28. 5.27	遠足	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
28. 6. 17	田植え(加藤花園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園 伊勢原ふたば保育園
28. 6. 23	日帰り旅行	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
28. 6. 28	地域交流会(湘南けやきの郷)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28. 8.30	暑気払い(平塚すたみな太郎)	三菱マイクロバス	つくし
28.9. 5	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
28.9. 14	バーベキュー	三菱マイクロバス	つくし
28.9. 28	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
28.10. 7	稲刈り(加藤花園)	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園 本厚木ふたば保育園
28.10.13	さつま芋掘り(みどり園)	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.10.14	園外保育(ぼうさいの丘公園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.10.21	園外保育(江ノ島水族館)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.10.21	さつま芋掘り(みどり園)	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
28.10.27	消防署見学	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.10.28	園外保育(ゾーラシア)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.11.1	消防署見学	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.11.4	遠足	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
28.11.11	インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス	つくし
28.11. 14	みかん狩り	三菱マイクロバス 日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園 本厚木ふたば保育園
28.11.14	インフルエンザ予防接種	日産マイクロバス	つくし
28.11.14	地域交流会(高森荘)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
28.11.18	インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
28.11.21	インフルエンザ予防接種	三菱マイクロバス	つくし
28. 12.8	利用者忘年会	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
28. 12.16	お楽しみ会	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
29. 2.13	梅見祭り	三菱マイクロバス	つくし
29. 3. 2	遠足(八景島シーパラダイス)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
29. 3. 10	遠足(新江ノ島水族館)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園

マイクロバス送迎の調整については、各事業所がきちんと予定表を作成したことにより、スムーズに対応することができた。

連携室専従職員が配置されているため、各事業所の予定に沿ってマイクロバス運転等に従事することができた。また、各施設の小修繕等の応援体制も確立することができた。

他事業所の職員がマイクロバスの運転免許を取得し、運転に従事するようになったので、さらにマイクロバス運行計画も組みやすくなった。



## 平成28年度の課題に対する自己評価

- 1 施設間でのマイクロバス送迎や貸出の調整、みどり園花壇農園での保育園さつま芋掘りの手伝い等を中心に行っていく。  
⇒ マイクロバス送迎や貸出の調整については、各事業所の予定表を作成しスムーズに対応することができた。みどり園花壇農園での保育園児によるさつま芋掘りの手伝い等は予定通り行えた。
- 2 各事業所の予定を集約して、連携室専従職員がマイクロバス運転等に従事できる体制を整えていく。  
⇒ 施設間連携室専従職員を配置し、各事業所の予定に沿ってマイクロバス運転等に従事する体制が確立できた。
- 3 夏期はレスパイトサービスも開催されている為、マイクロバス送迎等の協力が難しくなるので、各事業所の予定を調整しながら協力検討をしていく。  
⇒ 夏期レスパイトサービス期間の各事業所の協力により、レスパイトサービス送迎に連携室専従職員が専念することができた。
- 4 必要に応じて、ボランティア運転手の開拓を行っていく。  
⇒ 他事業所の職員がマイクロバスの運転免許を取得し、運転に従事するようになったので、さらにマイクロバス運行計画も組みやすくなった。

